

● ● ● 旧甲州街道を歩く⑦ ● ● ●

日時:2020年11月28日(土) 天候:快晴 22000歩 約15Km ※コース=やや健脚

集合:JR 相模湖駅 10時

コース:相模湖駅→与瀬神社→吉野宿ふじ屋→吉野神社(昼食場所)→藤野→関野宿→諏訪関跡→諏訪神社→塚場一里塚→牛倉神社→上野原駅

参加者:平山(L) 奥村(SL) 勅使河原 熊坂 高橋文 奈良 山内 清水 伊藤美 小島 栗田 市村 丹後 小田 島 高橋友 岩元 鈴木司 三田 飯田 計20名

「はり火に 茶棚のくらし 冬隣り/蛇笏」・・・暦の上では立冬を過ぎ、風景にも秋の終わりが近づいていることが伺えます。皆さん寒さ対策をしてきたものの、駅前朝から日差しが強く、ストレッチの後にはすでに一枚脱ぐほどの陽気となりました。

抜けるような青空の下、上野原に向けて歩を進めることに。晩秋となった山々の木々は色を落とし、冬枯れのような彩を見せていますが実感としてはまだ秋。 ♪に蛇笏から借りて私も一句・・・「冬隣り そぞろ歩きの 甲州路」(オソマツ!)

<フォトレポート 小島>



<甲州道中関野の標柱前で。昔の旅人が出合ったら、歳を聞いただけで坂道を転げ落ちそうなシニア軍団の面々>

●甲州道中は日本橋から下諏訪まで53里(約220km)、高遠藩、飯田藩の参勤交代の大名行列や、富士信仰や身延信仰、善光寺詣でなどの人々の通行があった道。宇治茶を江戸に運ぶお茶釜道中なども行われました。



日差しタップリの相模湖駅前。熊坂さんのストレッチで20名の身体もポカポカ。 平山 L からシリーズ⑦のコース説明。



駅を出た辺りは与瀬宿。脇道に入ると早速急坂の洗礼！

リーダーはスイスイと上って行きますがこの先に何が？



着いたのは与瀬神社。虫封じの神として有名。



但し本殿はこの長い階段を上った場所。



下は国道20号。中央高速道の下を潜ることに。



こんな坂など朝飯前。“祭り男”の本領発揮か？



更に道は旧道へと上って行く。



日当たりが良く石垣イチゴの気分？



振り返ると下方には相模湖が。



湖と稜線のコントラストが綺麗。



花の名は・・・相変わらず名前は何？



甲州道中橋沢の標柱。



杉林に包まれた爽やかな古道。



カーブミラーでは皆さんスリム？



中央高速の陸橋を渡る。



甲州道中赤坂の標柱。倒壊寸前！



この下に古道が有るようなので・・・



ここにはまだ紅葉が残っていた。



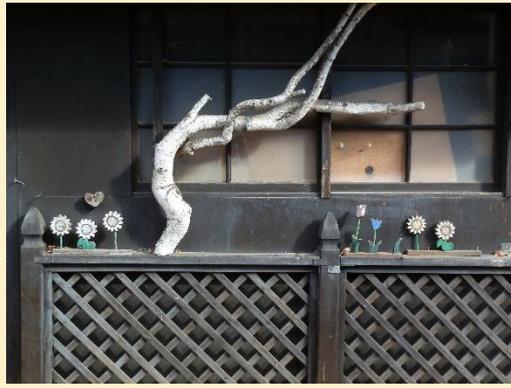
所々にはこのような標柱が立てられている。



何やら鬱蒼とした道となってきた。



難読漢字の「クヌギ」。



洒落たオブジェの家もあった。



山間の住宅街。ここから急坂を下ることに。



吉野宿の高札場跡。



入り口にある六地蔵。(一つは倒れていた)



平山Lから吉野宿についての説明が。



■吉野宿は日本橋と甲府の間に位置し、大変賑わった宿場だった。明治29年の大火で五層楼の吉野本陣や旅籠「藤屋」も消失してしまったが、翌年に再建し現在の建物は約120年以上の風雪に耐えた2階建て。「吉野宿ふじや」には、遺跡から発掘した土器や昔ながらの生活用品、炭焼や養蚕に関する資料が展示されている。



内部は狭いので密を避け10名ずつに分かれて見学。今に残る各種資料にかつての吉野宿の繁栄が偲ばれた。



吉野宿本陣五層楼の再現模型。木造でよく建てたもの。



大火で唯一焼け残った土蔵。あと何年耐えられるのか・・・



ここだけ“コスモス街道”の国道20号。



バス停も吉野。一日何本あるのかな。



国道からそれランチ場所へと向かう。



本日のランチ場所の吉野神社。境内には何もなくて皆さんは適当な所に座っての昼食となった。



日当たりのよい場所に陣取った男性陣。眠気が襲いそう。



人数を確認して午後の部出発。これからが道中の本番！



国道20号に架かる吉野橋。



橋上から見た湖のような沢井川。



洒落た迂回路の案内板があった。



藤野名物のラブレター。芸術作品。



藤野駅に到着しやっとひと心地。



秋の日差しが注ぐ改札前。



トイレ休憩を終え陽もやや傾きかけた藤野駅を後に。



また上り坂。やや健に変更したことに間違いはなし！



今度は下り。古道にしては風情の無い人工的な構造物。



え、イノシシ注意？「いるぞ～」がリアル感あり笑える。



秋色の中に行く。カサカサと落葉を踏む足音が聞こえる。



写真で見ると急坂。息が上がるがともかく上へ上へ...



中央線の線路際で水分補給の小休止。



ここに標柱があったので集合写真を撮ることにした。



跨線橋を渡る。前方は上野原方面。



20号に出て暫く歩くと...



この辺りがかつての関野宿だった。



国道をそれまた上り坂が待っていた。



ここでやっと嬉しい下り?



その先は気持ち良い林間コース。



境川橋の手前で小休止。



これから上る長い坂。見ただけで・・・



急坂を下りて来る車には要注意！



途中から見た風景。秋ですね～



あ、UFO?・・・何を見つけたのか。



引き船が引いているこの船は何？



<諏訪番所跡の碑の前で全員集合。傾きかけた秋の陽に背後の紅葉が映える>

■諏訪番所■県境近くの乙女坂上にあり、境川番所や境川口留番所とも呼ばれました。番所では通行人やその荷物、相模川(桂川)の舟運や甲州道中の輸送品を検査し、取り締まりました。また、合戦時には厳重に門を閉ざし、防備に当たる機能を持っていました。古くは諏訪神社前にありましたが、宝永4年(1707)に現在地へ移転しました。番所の門の開閉は朝6時から夕方6時までとし、男子は上り下りとも手形不要、女子は江戸方面に行くとき手形を要しました。明治2年に関所は廃止され、関門も明治4年に取り除かれました。



集合写真の後、Lが立ち上がれなくなった？



気を取り直して諏訪関の説明をする平山L。



赤い鳥居が目立つ諏訪神社。かつてはこの前に番所があった。



ここで差し入れ。“番人”は誰？



近くの疱瘡神社に移動する。



ここには塚場一里塚があった。



私有地内なので神社から見るだけ。



最後のポイント牛倉神社に到着。



熊坂さんのストレッチで締め。だが上野原駅はまだ先。



再び20号に出て上野原駅を目指すことに。



駅はこの長い階段を降りた下にあった。(地元の人は大変)



ゴールの上野原駅。電車の時刻が迫りあたふたと改札へ。



最後は“撮り鉄”で本日のウォークを締めた！

<今日の一言>

“うっかり”参加した今回のコースですが、やや健に変わっていました！そう言えば、平山 L からレベル変更のメールが確かに来ていましたが・・・道中は坂また坂で、これでは一般コースとしては確かにキツイ。参加者を見渡せば殆どが“市村組”の山メンバーばかり。自分の様な血統書付の“低地族”にはかなりの苦行となりました。もっとも昔の人々にとっては健脚も一般もなく、未舗装の坂道を草鞋姿で旅をしたわけですから・・・この古道を歩いたことでその苦労を実感することができました。

(※説明文はパンフレット他より引用)

END